

5月

平成27年(2015)

那覇市ボランティア・市民活動センター情報

発行：社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会 〒901-0115 那覇市金城3-5-4
TEL.098-857-7766 FAX.098-857-6052 (e-mail)info@nahasyakakyo.org (http)www.nahasyakyo.org

ボランティアセンターだより

ボランティア募集

ボランティアに希望する方は、ボランティアセンターまでご連絡ください。

☎098-857-7766

情報の見方 ▶ ①活動内容 ②日時 ③場所 ④駐車場 ⑤人数 ⑥条件 ⑦備考

1 手芸のボランティア(女性)講師募集

県指定障がい福祉サービス「癒しの家スマイル(女性専用)」では、手芸の女性講師ボランティアを募集しています。



- ①手芸の講師ができる女性。
- ②平成27年5月1日～平成28年3月31日13:30～14:30
- ③那覇市久茂地2丁目 ④無 ⑤1名
- ⑥大学生以上の女性。

2 通学付き添いボランティア募集

特別支援学校に通う男の子(知的障がい児)の通学支援のボランティアを募集しています。ご両親とも共働きで朝早くに出勤するので、スクールバスの時間に合わせる事が厳しい状況です。活動内容は、「コープこくば」から国場バス停まで付き添ってもらい、バスに乗るまで見届けていただきます。男の子は人見知りをしない明るい性格です。毎日のことなので、多くの方にご協力をお願いかけます。ぜひ皆さんの可能な日を提供してください。(木・金曜日は、通学支援ボランティア有り。)

- ①通学の付き添い見守り
- ②月～金/午前7:50～8:30(約40分)
- ③コープこくば～バス停(徒歩5分弱) ⑦ボランティア保険自己

3 介助ボランティア募集

車イスバスケットの練習児のボランティアを募集します。練習前の車イスを出し入れや移動のお手伝い、準備のお手伝いのボランティアを募集しています。車イスバスケットや介護に興味のある方お待ちしております。



- ①練習準備 ②月曜日 pm7:00～木曜日 pm6:30～
- ③寄宮中学・浦添サンパビリティー ④駐車場あり
- ⑤2人 ⑥男性

4 通院ボランティア募集

通院といっても人ではなく病気の猫を病院に定期受診するための送迎ボランティアを募集しています。



- ①依頼者の家から病院まで ②5日に1度 午前中
- ③那覇市金城 ④駐車場有り。 ⑤1人
- ⑥女性(猫好きな方)

ボランティアBOX取組団体(4月受付分) ※順不同

1	障がい者就労支援センター さわやか	6	沖縄県社会福祉施設経営者協議会
2	おきでんグループ ボランティア互助会	7	沖縄県社会福祉協議会
3	(株)琉球新報社		
4	日進電気土木(株)		
5	那覇市 福祉政策課		

沖縄電力(株)総務部
部長 兼元 聡 氏
(左)よりボランティア
BOX贈呈



社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会

インフォメーション

27年度上期 「りゅうぎんユイマール助成会」 ～助成先募集のお知らせ～

1. 応募期間

平成27年5月1日(金)～6月30日(火)
※当日消印 有効

2. 助成対象先

沖縄県内において県民のための社会福祉活動、環境保全活動を実施しているNPO法人ならびに諸団体。

3. 助成対象事業

- (1) 沖縄県内の社会福祉、環境保全活動に関する独創的、先駆的な事業や企画に対する助成事業。(日常の人件費や交通費は助成対象外)
- (2) 沖縄県内において、障がい者、高齢者、児童に対する社会福祉活動、環境保全活動を実施している個人・NPO法人およびボランティア活動をしている団体を支援するための施設・機器の整備等の助成。

4. 助成金

総額100万円 → 1法人(1団体)への助成上限20万円

お問い合わせ先 総合企画部 地域貢献室
りゅうぎんユイマール事務局(担当：宮城)
TEL.098-860-3787



平成27年度 ボランティア活動保険 加入手続きの お知らせ

掛け金は…

◎ボランティア活動保険は…

ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや損害賠償責任を補償します。さらに後遺障害もフルカバーなので安心!
※後遺障害保険金は、後遺障害等級1級から14級までのすべてがお支払いの対象になります。

◎加入条件は…

社会福祉協議会及びその会員・構成員ならびに登録しているボランティア個人または、ボランティアグループ・団体。

平成27年4月1日～平成28年3月31日	
年間保険料	基本タイプ▶Aプラン 300円 Bプラン 450円
	天災タイプ▶Aプラン 430円 Bプラン 650円

所定の「加入申込書」に必要事項をご記入し、ご署名(フルネーム)またはご捺印の上保険料を添えて、最寄りの社会福祉協議会へご提出ください。既作成の名簿がある場合は、「加入申込書」に名簿コピーを添付してください。(名簿の書式は問いませんが、個々の加入者氏名と加入プランを明記してください。)

平成27年度 ボランティア 行事用保険は

地域福祉活動やボランティア活動のさまざまな行事における、◎主催者や参加者のケガ、◎主催者の賠償責任(主催者責任)を補償します。
・掛け金は、Aプラン(宿泊を伴わない行事)、Bプラン(宿泊を伴う行事)の2プランがあります。
・平成27年度、死亡・後遺障害保険金額の改定を行っています。
・平成27年度、Bプラン(宿泊を伴う行事)の保険料が変更になりました。
・平成27年度、A3行事を新設しました。

お気軽に
お問合わせ
ください。

那覇市ボランティア・市民活動センター 〒901-0155 那覇市金城3丁目5番地の4
(那覇市総合福祉センター)
☎098-857-7766 E-mail naha-vc@nahashakyo.org
FAX.098-857-6052

なは市民協働プラザがオープン

那覇市社会福祉協議会はこれまで小禄の那覇市総合福祉センターを拠点にし、真和志庁舎の一部にボランティア団体等の活動場所としての「ボランティアサロンまわし」を管理しています。

去る3月29日、那覇市の銘苅庁舎に新たに「なは市民協働プラザ」が開所しました。私ども那覇市社会福祉協議会も同プラザ3階に「那覇市社会福祉協議会 新都心支所」として入居することになりました。真和志庁舎の拠点と違うのは、来る5月11日より職員が常駐することです。現段階ではファミリーサポートセンターの受付とボランティアに関する相談ができるよう、週3回で2～3名の職員の常駐体制を検討しています。改めてのお知らせ、広報にはなりますが、是非、新都心でもゆんたく、相談できることを職員一同楽しみにしています。なお、新都心の連絡先も検討していますので、いましばらくお待ちください。

【那覇市社会福祉協議会 新都心支所】

〒900-0004

沖縄県那覇市銘苅2-3-1 なは市民協働プラザ (3階)

電話：098-857-7766 (小禄：那覇市総合福祉センター)

※5月11日からの受付時間：午前10時～午後4時



▲城間那覇市長と入居団体によるテープカット

四者会議（社協・自治会・民児連・行政）

平成26年度から、那覇市より「安心生活創造推進事業」の委託を受け、地域見守り隊の推進に努めてきました。

事業を進めるにあたり、合意形成を図ることを目的に、平成26年度は行政、自治会、民生委員児童委員協議会、市社会福祉協議会の会議が3回行なわれ、3月30日の四者会議では、平成26年度の振り返り（地域見守り隊について、自治会への要援護者名簿の提供方法について）と、次年度の取り組みについて、話し合いました。

また、民生委員児童委員に通知される「那覇市災害時要援護者名簿」や、手上げ方式で申請する「那覇市避難支援希望者名簿」の活用についても協議しました。

今年度も四者会議では、進捗状況を確認しながら、地域の見守り・支えあい活動の充実を図っていきます。



★地域をつなぐ「地区コーディネーター」とは★

地域における支援を必要とする人々の生活圏において、制度の狭間にある要援護者等の見守り・発見、相談から必要なサービスへのつなぎなど等、セーフティネット機能の体制づくり、福祉関係機関や地域住民参画への福祉のまちづくりコーディネートを行います。

宮城区自治会「地域見守り隊」結成！

4月24日、宮城区自治会（寄宮2丁目）において「地域見守り隊」の結成式が行なわれました。

「地域見守り隊」とは、地域で孤立したり引きこもりにならないよう、地域に住む住民同士の声かけ活動や訪問による安否確認、居場所づくりを行なうものです。

現在、宮城区自治会では、宮城宜子自治会長、民生委員児童委員の名嘉山吉子さんを中心に、高齢者の介護予防や居場所づくりの一環として地域ふれあいデサービスが実施されており、ボランティアを含め毎回30名以上の参加者が集い活動しています。

宮城会長は、「『地域見守り隊』の活動は難しく考えず、地域の方々が『向こう三軒両隣』気軽に声を掛け合える地域にすればよい。そういう地域になれば、声をかけあううちに気になる方がいたとき、自治会長や民生委員につなげることができる。それが『地域見守り隊』の活動なのでは?」とおっしゃっていました。

これから地域のつながりがより一層深まるような活動になるよう、私たち社会福祉協議会もサポートしてまいります。



▲「地域見守り隊」の、のぼりを受け取る宮城区自治会会長宮城宜子さん(左)

石嶺小学校区まちづくり協議会「石嶺町福祉ガイド」完成！

那覇市石嶺小学校区まちづくり協議会（会長 中松竹二郎 平成23年7月設立）が発足して5年目を迎え、この度「石嶺町福祉ガイド」が完成しました。

「石嶺町福祉ガイド」は従来取り組んで来ました「石嶺町福祉マップ」に掲載協力頂きました福祉関係施設を中心に、小学校・中学校等の児童生徒並びに学校の先生方と福祉関係施設とが石嶺町の子ども達への優しさや思いやりのこころを育む福祉教育やボランティア体験活動の機会を提供できる関係機関同士のネットワークづくりと「石嶺福祉村」と呼ばれる石嶺町の特徴を活かし子供から高齢者まで誰もが気軽に声を掛け合い、交流を深め助け合う「まち」にしていくことを目的としています。

また、製作にあたった福祉部会 部長 名嘉真朝春（オリブ山在宅総合ケアセンター地域支援局長）は、「このガイドブックが、石嶺町内の各学校や町民の福祉の勉強に役立ち、町内にある施設と地域の皆さんとが深くつながることができれば幸いです。」と抱負を語った。



▲石嶺町福祉ガイド

▲石嶺小まち協福祉部会の会合の様子